にけるをとするののに

　この（「」という。）は、をとするののに（25。「」という。）のに、また、をとするののに（2724）にして、にするにし、にする（を。「」という。）がにするためになをめるものとする。

（なの）

　は、ののとおり、そのはをにたり、（、、（、をむ。）、（がしていないののであって「のをにするための（1825）」でめるもの）そののののをいう。。）をとして、（によりにはになをにあるもの。。）でないとなをすることにより、のをしてはならない。これにたり、は、ににするものとする。

なお、、「ましい」としているは、それをしないであっても、にするとされることはないが、（）のなのをまえ、できるだけことがまれることをする（においてじ。）。

（の）

　は、ののとおり、そのはをうに、からにのをとしているののがあったにおいて、そのにがでないときは、のをすることとならないよう、の、のに、ののについてかつな（「」という。）のをしなければならない。これに、は、ににするものとする。

（の）

　のうち、（「（20）」にのをいう。）のにある（「」という。）は、にに、をとするのをするため、のにをしなければならない。

　のをにより、をとするのに、そのするのをし、をとするのにをこと。

　からな、のに、のがあったは、にをすること。

　のがされた、するに、のをにようすること。

２　は、をとするにがには、かつにしなければならない。

（）

　が、になをし、は、ながないにものをした、そのによっては、のにし、はをにし、にことがある。

（の）

　によるをとするにそののからのをけるため、にを。

２　をは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、フォームメールに、がとコミュニケーションをにとなるな（、、、、のやサインによる、によるなど（をものを。））をなでしてするものとする。

３　のには、する（（28）にするをいう。）は（、センターにのをいう。）にし、にする。また、のプライバシーにしつつでを、のにおいてすることとする。

４　のは、に、をようものとする。

（・）

　において、をとするののをため、に、な・をものとする。

２　にとなったには、をとするのになについてさせるために、また、にとなったには、をとするのにについてさせるために、それぞれ、をする。

３　の、のは、が。

４　に、のをさせるとともに、ににするためになマニュアルのにより、のを。

このは、からする。

におけるをとするののにに

　をとするののにのな

は、すべてのをに「ひとりひとりをにする」という「かながわ」のに、また、のにかかわらず、もがにとをし、めうのにけて、のをするため、のをし、のをしている（とは、があるにとってはをでとなるようなにおけるなや、、、のものをいう。）のにものとする。

　なのな

は、に、ななく、をとして、・サービスやのをするはに・などをする、でないにはをことなどにより、のをすることをしている。

ただし、ののをし、はするためになのは、なではない。したがって、をでないとする（いわゆる）、にされたにのによるでないとのや、をするためになで、プライバシーにしつつにのをすることは、なにはたらない。

このように、なとは、ななく、を、となるはについて、にするがでないよりにことであるにするがある。

　なのの

なにするのは、に、をとして、・サービスやのをするなどのがになのにものであり、そのにとである。は、なにするかかについて、なをせずになをするなどしてのをことのないよう、のごとに、、の（：の、の、の）のはの・・ののに、やに・にすることがである。

は、ながあるとしたには、にの、・、、コミュニケーションをするにそのをするものとし、をようことが。

　なの

なにはのとおりである。なお、でとおり、なにするかかについては、のごとにされることとなる。

また、にされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、それらはあくまでもであり、されているだけにものではないことにするがある。

なお、は、もにをものとする。

（なに）

○　をにをする。

○　をにのをにする。

○　をにの、の、パンフレットの、を。

○　をに、シンポジウムへのを。

○　・の、にではないにもかかわらず、をに、やのにのをなどのを、にがないにもかかわらず、のをする。

○　をにやそれらのサービスのをさせない。

○　をにへののの、、、への、、をことや、これらをとしてなのないを。

○　においてのをことをに、のをのからしたり、においてをする。

　のな

１　のに（「」という。）において、「」は、「がのとのをとしてのをし、はすることをするためのかつなであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をはのをもの」とされている。

は、におけるのを、に、そのはをに、のにおいて、からにのをとしているののがあったにおいて、そのにがでないときは、のをすることとならないよう、ののについて、をことをいる。は、がは、のみにするものではなく、におけるなとことによってずるものとのいわゆる「モデル」のをものであり、

　のをすることとならないよう、がのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにがでないものである。

は、のはの・・に、とされるでのにするものにこと、でないとのにおいてののをためのものであること、はの・・のなにはことにするがある。

２　は、のやのがやに、かつのものであり、がにいるを、ののためのについて、「　なのな」にをし、のも、のによるを、かつなで、にがなされるものである。さらに、のは、の、のにものである。

のには、の、、にするものとする。なお、をとするが、とのがにわたるには、そののとはに、するのをにことにより、・なコストの・につながるはである。

３　のには、において、のにをとしているにあることを（を。）のほか、、、、のやサインによる、によるなど、がとコミュニケーションをにな（をものを。）により。

また、からののみでなく、や（、を。）によりのがなには、の、、、、コミュニケーションをするがをしてのも。

なお、のがなが、、、、をいないなど、のがないであっても、がのをとしていることがであるには、のに、にとをするためにをなど、なにことが。

４　は、のをしてにの、、、の、アクセシビリティのののをとして、のに、そのににされるである。したがって、におけるののにより、のはこととなる。また、のがすることもあるため、に、とのがにわたるには、するについて、、をことがである。

５　がそのはのとしてするをにするは、されるのにがずることによりがをことのないよう、のに、をのについてようことが。

　なのな

なについては、なをせずになをするなどしてのをことなく、のごとに、のをし、やに・にすることがである。は、なにとしたは、にの、、、、コミュニケーションをするにそのをするものとし、をようことが。

○　はへのの（はの、、をかか）

○　の（・、・の）

○　・の

　の

でとおり、は、やに、かつのものであるが、としては、のようなものがある。

なお、したについては、でながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにものではないことにするがある。

なお、は、もにをものとする。

（にへのの）

①としてへのにもの

○　する・において、のためにキャスターのをする、にスロープを、ののや、スロープがあるをなどする。

○　のにやパンフレットを。やパンフレットのを。

○　のまでのするは、のにで、する（・・）について、のをする。

○　のにより、にのがあるは、やのをにする。

○　をからでののがあったは、のがであるに、にをし、のにをなど、のスペースを。

○　によりをことがに、がを、バインダーのをしたりする。

○　やがしたに、のでのをことがに、、のボードを、を、をしを。

○　にのある・ののためのをしたり、するをアクセスしやすいとする。

○　の・のためにの・のにををする、のがな・のためにののをなど、のごとににをする。

②としてのにもの

○　、、のへの、やでのパソコン、、でのをする。

（にのの）

○　、において、、、、、などなコミュニケーションやををするなどののを。

○　のから、にの（ことでができる・や、コピー、はを、のものやのものなどことができないものをできるやの）、になの、えにくさとこえにくさのがあるにの（にを）、にしたの（のをする、にルビを、やのにをする「」にする、なじみのないは）をこと。また、その、しているによってページがことにしてする。

○　がするにするのあるにをするは、ソフトにできるようデータ（テキスト）でする。

○　ホームページなどでするは、ソフトやにできるよう、テキスト（html）でのや、にをなどアクセシビリティにする。

○　だけをすることやがな・に、やのカード、コミュニケーションボード、タブレットのICT の、にためのの、を「はい」又は「いいえ」でにようにすることなどによりをしたり、の・をしたりする。

○　で、でを、にメモをして。

○　のに、をのので、でしたりする。のがあるは、やといったを。

○　がなに、や、などをににわかりやすくする。

○　からがあったに、ゆっくり、に、し、がされたことをしながらする。また、なじみのないは、は、は24ではなく・でするなどのをにメモを、にに。

○　のに、ををことがなはにのあるやや（、を）のあるに、ゆっくり、なをなどのを。

○　のには、がののにサポートをなど、なでのを。

○　、（、を）から、をは、にをなどのを。

○　がする、セミナーにおいてのに、やの、やをする。

○　にするに、だけではく、ファックスをする。

○　や、をしてする・のために、でするや、をはしたものやテキストデータをに、にしたりするを。

（ルール・のなの）

○　のに、をことがなに、ののをで、を。

○　がにをいるに、ののをで、のがまでやをする。

○　スクリーン、、がよくように、スクリーン、、にをする。また、スクリーンのについてはのにする。

○　をにへする。

○　のののにおいて、のがは、、とされていないをのにする。

○　との、のにいることによるにより、のがあるは、をするため、にの、のやのにをする。

○　はをにおいて、にがことをに、のあるのをする、のを。

○　において、にのあるをにさせにしたり、をするのに、のをしたで、のもできるようにしたりする。

○　にやにおいて、・の、のを、での、やの、、のをする。

○　のある・に、のリスニングのに、・をしたり、によるをしたりする。

○　によりのがな・に、のやニーズに、をする。

○　のある・に、ののに、・のにボールにおけるボールのやを、におけるをしたり、のをしたりする。

○　にケアを・に、がなもあることなどを、をにはがあることにして、やがをいるとを、のやなをにし、にのをしないようにする。

○　なのためにの・とようにができない・に、をしたり、できるをしたりするなど、のをし、にはをすることなく、するためのをする。

○　のためできないが・に、をなど、をするをする。

○　・にのある・のために、やでのタブレットのICTをしたり、にによるをりする。

○　のため、でのがな・に、としてレポートをしたり、をしたものでをりする。

○　において、なのにがある・のために、ななどにおいてグループをするには、に、によってはのをしたりする。また、でを・のために、やなどのにおいて、をことにをがあることをして、をにしたりにしたりする。

○　のなどでグループワークができない・や、のやをするなど、がな・に、のやをしたり、のティーチング・アシスタントをする。

８　におけるの

においては、のリーダーシップの、なをし、のあるなしにかかわらず、すべての・をとし、やのを。

　は、ののとして、がやにをとともに、リーダーシップをしつつ、をし、としてにするようをすることがである。

は、、、、コーディネーター、グループのリーダー、グループのリーダー、による、、の・の、グループのリーダー、そとでする。

をするが、・からのにのをとしているののについて、のリーダーシップの、にをに。と・とのによるがであるには、が、をのをなどしつつ、のににすることがである。